

# 平成 29 年の梅雨入り・明けに関するお知らせ

平成 29 年 9 月 1 日  
鹿児島地方気象台

気象庁では、毎年、春から夏にかけての実際の天候経過を総合的に検討し、各地の梅雨入りと梅雨明けの確定及び梅雨時期の特徴のまとめを行っています。

平成29年の梅雨についてとりまとめた結果は以下のとおりです。

地域	梅雨入りと階級(注1)			梅雨明けと階級(注1)		
	事後検討	当初発表	平年	事後検討	当初発表	平年
奄美地方	5月13日ごろ(0)	5月13日ごろ	5月11日ごろ	6月29日ごろ(0)	6月29日ごろ	6月29日ごろ
九州南部	6月6日ごろ(+)	6月6日ごろ	5月31日ごろ	7月13日ごろ(0)	7月13日ごろ	7月14日ごろ

地域	梅雨時期(奄美地方は5月～6月、九州南部は6月～7月)の降水量	
	地域平均降水量の平年比と階級(注2)	代表地点の降水量、カッコ内は平年値
奄美地方	86% (-)	名瀬 505.0mm(668.8)
九州南部	91% (0)	鹿児島 705.5mm(771.2) 宮崎 487.0mm(738.6)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「日ごろ」と表現した。

記号の意味：(+)\*：かなり遅い、(+):遅い、(0):平年並、(-):早い、(-)\*：かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 記号の意味：(+)\*：かなり多い、(+):多い、(0):平年並、(-):少ない、(-)\*：かなり少ない、の階級区分を表す。

## 梅雨時期の概況

### 奄美地方

5月上旬の後半から中旬の前半にかけては、気圧の谷や前線の影響で雨の日もありましたが、晴れた日が多くなりました。その後は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、5月13日ごろ梅雨入りとなりました。

6月23日から25日は梅雨前線が九州付近へ北上し、高気圧に覆われて晴れましたが、26日から28日は梅雨前線が十島村付近まで南下したため、十島村を中心に曇りや雨となりました。29日は梅雨前線が九州北部付近まで北上し、29日ごろに梅雨明けとなりました。

### 九州南部

5月下旬から6月上旬の前半にかけては、気圧の谷や前線の影響で雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。6月上旬の後半から中旬にかけて高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、6月6日ごろに梅雨入りとなりました。

6月下旬は中頃まで曇りや雨の日が続きましたが、下旬終わりから7月上旬のはじめは梅雨前線が日本海付近に北上し、晴れた日が多くなりました。その後、7月上旬の中頃からは梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が続きましたが13日以降は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が続きました。このため7月13日ごろに梅雨明けとなりました。

なお、梅雨時期の降水量は、奄美地方では平年より少なく、九州南部では平年並となりました。

本件に関する問い合わせ先  
季節予報担当：099 - 250 - 9912